

市政を運営するにあたり、特に重点的に進める施策として掲げた5つの重点施策に沿い、令和3年度に取り組む主な施策について紹介します。

重点施策 1 風通しの良い市政を市民目線で実行

▶オンライン申請導入事業 **新規** 613万円

(担当：情報政策課)

様々な生活様式に対応し、市民の皆さんの利便性向上と行政手続きの迅速化のため、オンライン申請システムを導入します。



▶LINE公式アカウント対応ツール導入事業 **新規**

226万円(担当：情報政策課、秘書広報課)

市政の情報発信や市民サービスの強化のため、LINE公式アカウントの機能を拡充します。



▶複合施設整備検討事業 **新規**

1,641万円(担当：資産活用課)

市立市民総合体育館・図書館の耐震性や老朽化の解決を図るため、にぎわい創出につながる複合施設整備に向けて検討します。



◀令和2年度からの継続事業▶

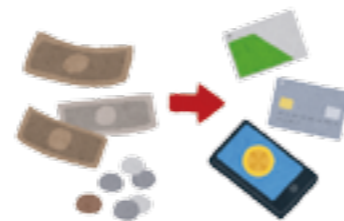
▶コンビニ交付事業 (担当：税務課、市民課)

コロナ禍において、市民の皆さんに安心して行政サービスを利用いただくため、マイナンバーカードを利用した住民票や印鑑証明書、税証明などのコンビニ交付を令和3年度中に導入します。

▶キャッシュレス決済導入事業

(担当：税務課、高齢介護課、保険年金課、保育幼稚園課)

コロナ禍において、納付者の窓口などでの接触機会を減らすため、また、市民の皆さんの利便性向上のために市税や保険料、保育料などのキャッシュレス決済を4月から導入します。※17ページに関連記事



令和3年度 市政運営方針(概要)

市長 岡田 一樹

昨年は、新型コロナウイルス感染症という、今を生きる誰もが経験したことのないような未知のウイルスが世界中にまん延し、その結果、多くの尊い命が奪われ、大切な家族を失い、今もなお、世界中の人々が、様々な困難に直面する事態となっています。

そのような中、日夜、献身的に医療活動に従事していただいている多くの医師、看護師をはじめとした医療従事者の方々、さらに、介護施設や保育所など、我々が日常生活を営む上で、必要不可欠な業務を担っていただいているエッセンシャルワーカーの方々に対し、深い敬意と感謝を申し上げます。

また、今回のコロナ禍により、感染拡大の防止対策として必要な物品などに不足が生じた際、民間企業をはじめ、多くの方々から、マスクや消毒液などの寄贈、あるいは寄附金などを通じ、本市に温かいご支援をいただきましたことに、重ねて、厚くお礼を申し上げます。

本市におきましては、市民の皆様への安心・安全な暮らしを守るため、国や大阪府の取り組みとともに、感染拡大の防止対策や、市民、事業者への支援など、様々な取り組みを進めてまいります。

引き続き、感染拡大の防止対策をしっかりと行いながら、国や大阪府の財源などを最大限に活用し、市民、

事業者への支援などに、鋭意、取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症の感染状況が見通せないことから、これらの対策に要する経費を含め、新たな財源需要、さらに、市税をはじめとした収入の減少など、非常に厳しい財政状況が見込まれます。

そのため、限られた財源を適正に配分し、新たな課題への対応や必要な施策を進めていく、まさに、「選択と集中」をより明確にし、予算編成に取り組んでまいりました。

令和3年度は、4年間の市政運営の指針となる「第五次総合計画後期基本計画」の2年目の年度となりますが、市内外の方々には「住みたいまち」「訪れたいまち」「住み続けたいまち」と思ってもらえるようなまちづくりを進めてまいります。

今回の、コロナ禍により、人々の日常生活は大きく様変わりし、普段の生活での制限や、これまでの習慣の見直しを余儀なく求められています。

我々は、知恵を出し合い、力を合わせ、この難局を乗り越えなければなりません。その先には、必ず明るい、晴れ晴れとした未来が来ることを信じて、邁進していく所存でございます。

藤井寺市では、「公共の福祉増進」のため、SDGsに取り組みます。各課が今後策定する個別計画などとSDGsを関連付けることで、各業務を通して全庁的な推進につなげていきます。



市政運営方針全文は、市ホームページ↓「市長の部屋」又は、左のQRコードから

問合先 政策推進課(6階⑥番窓口)
☎039・1171

重点施策 3 観光資源を活かしたまちなぎわいを創出

▶アイセル シュラ ホール活用事業 **新規** 405万円

(担当：観光課)

アイセル シュラ ホールを「百舌鳥・古市古墳群」の周遊ルート上のシンボリックな拠点施設として位置づけ、観光や商業の振興につながる新たな取り組みを行います。



▶まちなか観光創造プラン改定に係る

調査事業 **新規** 151万円 (担当：観光課)

「百舌鳥・古市古墳群」が世界文化遺産に登録されたことや新型コロナウイルス感染症拡大による個人の消費行動の変容に対応するため、平成25年度に策定したまちなか観光創造プランの改定に係る調査をします。



▶商工業振興事業 **新規** 385万円

(担当：商工労働課)

本市の商工業振興の指針となる計画策定を目指し、コロナ禍における事業者の状況も踏まえながら、その基礎データとなる調査を実施します。

▶道明寺地区景観整備検討事業 **新規** 440万円

(担当：まち建設課)

まちなみの歴史文化資産と調和を図り、魅力的な都市景観形成につなげるため、地域住民の皆さんとともに道明寺地区の景観整備に向け、検討していきます。

重点施策 4 健康で生き生きと暮らせるまちづくりを推進

▶新型コロナウイルスワクチン接種事業 **新規** 2億1,799万円

(担当：健康課)

市民の皆さんの健康を最優先に考え、迅速かつ適切な新型コロナウイルスワクチンの接種を実施します。



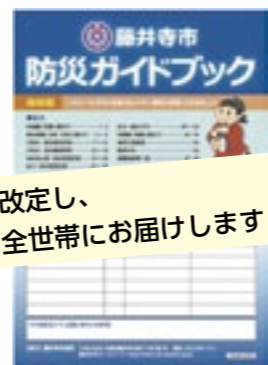
※画像はイメージです

重点施策 5 危機管理体制をしっかりと構築

▶防災ガイドブック修正事業 **新規** 560万円

(担当：危機管理室)

市民の皆さんが適切な避難行動がとれるよう、石川の浸水想定区域の見直しに伴い、防災ガイドブックを修正し、全世帯へ配布します。



改定し、
全世帯にお届けします

▶木造住宅除却助成事業 **新規** 100万円

(担当：都市計画課)

安心・安全の取り組みとして、昭和56年5月以前に建築され、かつ、耐震性が不十分な木造住宅の除却に要した費用の助成を新たに行います。

重点施策 2 子育てをするなら藤井寺と言われるまちを実現

▶子どもの医療費助成の拡大 **新規**

2億3,000万円(うち拡大分 3,000万円)

(担当：保険年金課)

子育て世帯へのより一層の経済的な支援のため、子ども医療費助成制度の助成対象年齢を入院・通院ともに「中学校卒業年度末まで」から「18歳到達年度末まで」に引き上げます。



▶市内公園大型遊具新規設置事業 **新規** 990万円

(担当：農とみどり保全課)

※令和3年度コミュニティ助成事業

子どもたちが安全に、楽しく遊べる場となるよう、市内公園に大型遊具を新規設置します。



※画像はイメージです

▶GIGA スクール ICT支援員配置事業 **新規** 1,106万円

(担当：学校教育課)

ICT教育の充実を図り、GIGA スクール構想を推進するため、ICT支援員を配置します。



《令和2年度からの継続事業》

▶市立道明寺東小学校及び市立第三中学校トイレ改修工事

(担当：教育総務課)

教育環境の整備・充実のため、道明寺東小学校及び第三中学校の2期目となるトイレ改修工事を行います。

▶市立小中学校体育館への空調整備事業

(担当：教育総務課)

コロナ禍の3密対策のため、体育館を教室として使用した際の熱中症対策、また、災害発生時の避難場所にもなる、市立全小・中学校の体育館に空調を整備します。



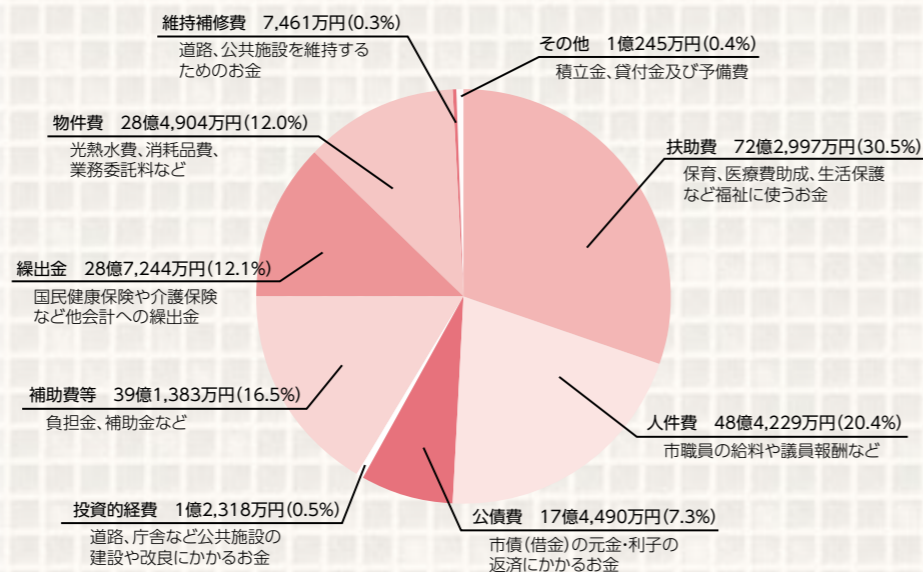
歳出を、経済的な性質に着目した「性質別」で見ると…

歳出

市職員などの給料、報酬に該当する人件費が48億4,229万円で、対前年度比1.1%の減となりました。また、公共施設などの建設や改良に関する費用である投資的経費は大幅に減少し、対前年度比74.8%減の1億2,318万円となりました。

一方、市の借金を返済するための公債費は、市立藤井寺中学校の全面建て替えや市立小・中学校空調PFI事業などを実施したときに借り入れた元金の返済が発生することから、対前年度比18.2%増の17億4,490万円となりました。

【歳出 237億5,270万円】



歳出を、行政目的に着目した「目的別」で見ると…

▼歳出の目的別構成比

民生費 96億3,056万円 (40.5%) 生活保護、子育て支援、高齢者、障害者福祉など	総務費 68億4,306万円 (28.8%) 市役所運営、防犯や災害対策、租税に関するものなど	教育費 17億3,017万円 (7.3%) 幼稚園・小中学校教育、生涯学習、スポーツ振興など	衛生費 19億3,291万円 (8.1%) 健康推進や病気の予防、ごみ処理など	公債費 17億4,490万円 (7.3%) 市債(借入金)[元金・利子]の返済
消防費 8億5,391万円 (3.6%) 消防組合や消防団の活動など	土木費 5億1,615万円 (2.2%) 道路や公園の整備、交通安全対策など	議会費 2億452万円 (0.9%) 市議会の運営	農林水産業費 商工費 1億9,468万円 (0.9%) 農業や商工業の振興など	諸支出金 予備費 1億185万円 (0.4%) 預金利子などの積立など

※金額は端数処理しているため、合計は一致しません。

※予算書などの資料は、市役所1階情報交流ひろば「ふらっと」、市ホームページで閲覧できます。



令和3年度 当初予算

予算とは1年間の収入と支出の見積もりです。使い道や収入源の違いから、一般会計・特別会計・企業会計の3種類で構成されています。令和3年度の当初予算について、お知らせします。

問合せ 行財政管理課 財政担当 (5階⑤番窓口) ☎939・1014

予算総額 **470億3,276万円** (前年度比 -5.4%)

一般会計
237億5,270万円
(前年度比 +0.1%)

福祉・医療・教育・道路など、市が行う基本的な事業に関する会計です。

12・13ページの2つの円グラフは、福祉、教育、防災、施設の建設・維持管理などを行う一般会計の予算内容について、歳入(収入)・歳出(支出)それぞれの内訳を示しています。

特別会計
156億491万円
(前年度比 +4.7%)

特定の事業を特定の収入によって行うため、一般会計から独立させた会計です。

国民健康保険	78億4万円
後期高齢者医療	10億8,913万円
介護保険	66億4,633万円
駐車場	6,942万円

企業会計
76億7,515万円
(前年度比 -30.7%)

民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営している会計です。
※企業会計の予算は支出額を記載

病院事業	27億7,602万円
公共下水道事業	48億9,912万円

※令和3年度から水道事業会計は大阪広域水道企業団との統合に伴い廃止

一般会計 当初予算の概要

歳入

市税は個人市民税、法人市民税とともに新型コロナウイルス感染症の影響により減収が見込まれ、対前年度比3.8%減の79億5,356万円を計上しています。

借金である市債は、対象経費である投資的経費が大きく減少したものの、臨時財政対策債(※1)が大幅に増加したため、対前年度比32.6%増の13億3,760万円を借り入れる予定です。

歳入のうち、市税などの自主財源(※2)は全体の約40%、地方交付税などの依存財源(※3)は約60%を占めており、地方交付税などに依存した財政構造となっています。

(※1)国が地方交付税を全額準備できない場合に、足りない分を地方自治体に借金させる形で一旦補い、後から地方交付税として交付するもの
(※2)自主的に調達できる財源 (※3)国または府から交付される収入

【歳入 237億5,270万円】

